

くまもと市議会だより いちよ



<http://kumamoto-shigikai.jp/>
熊本市議会 検索

<http://www.facebook.com/kumamoto.shigikai>
熊本市議会公式 facebook 検索

- トピックス**
- ・議員定数や区ごとの定数の見直しを検討しました。 →詳しくは7ページをご覧ください
 - ・大学生を対象にアンケートと意見交換会を開催しました。 →詳しくは8ページをご覧ください



令和4年 第1回定例会の概要 2/16~3/24 会期 37日間

- 2月16日 本会議
 - ・開会 ・提案理由説明
- 2月17日 予算決算委員会分科会
- 2月21日 予算決算委員会
 - ・分科会長報告、締めくくり質疑、表決
 - 2月21日 議員定数等のあり方検討会
- 2月22日 本会議
 - ・委員長報告 ・質疑、討論、表決
 - 2月22日 議会活性化検討会
- 2月25日、28日、3月3日、7日~8日 本会議
 - ・代表質問 ・一般質問(4日間)
 - 3月7日 議会運営委員会
- 3月10日~11日 予算決算委員会
 - ・総括質疑(2日間)
- 3月15日、16日 予算決算委員会分科会、部門別常任委員会
- 3月17日 議員定数等のあり方検討会
- 3月22日 予算決算委員会
 - ・分科会長報告、締めくくり質疑、表決
 - 3月22日 議会運営委員会
 - 3月23日 大都市税財政制度・都市問題等特別委員会
- 3月24日 本会議
 - ・委員長報告 ・質疑、討論、表決 ・閉会

提出議案と議決結果

市長提出議案	99件	… 原案どおり可決99件、否決0件
議員提出議案	10件	… 原案どおり可決8件、否決2件
請願	0件	

主な議案の概要

○令和3年度熊本市一般会計補正予算 総額 102億1,185万円

<主な内容>

- 公共施設長寿命化等基金積立金…………… 20億円
- 住民税非課税世帯等臨時特別支援事業…………… 17億6,060万円
- 営業時間短縮要請に伴う事業者支援経費…………… 7億9,038万円
- 保育士等処遇改善事業…………… 5億9,700万円
- 畜産クラスター事業…………… 3億8,600万円
- 新型コロナウイルス感染症対策経費…………… 2億5,700万円
- 失業者就業支援事業…………… 2億2,100万円

○令和4年度熊本市一般会計予算 総額 3,791億円

<主な新規事業の内容>

- 広域観光連携事業…………… 2億5,000万円
- 飲食店食べ歩き1億円キャッシュバック事業…………… 1億3,300万円
- 森の都推進経費…………… 1億1,590万円
- 医療的ケア児保育支援事業…………… 7,390万円
- 新規就農者育成総合対策事業…………… 6,000万円
- 高校等進学支援経費…………… 4,840万円
- 公用車EV化環境整備事業…………… 4,270万円
- 物産品等販路開拓支援事業…………… 4,000万円
- 記念館開館準備経費…………… 3,320万円
- 産婦健康診査事業…………… 3,300万円
- 関連企業誘致交通影響調査経費…………… 3,000万円

- …総務費 ●…民生費 ○…商工費 ●…農林水産業費
- …衛生費 ●…土木費 ●…教養費

○年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律(令和2年法律第40号)の施行に伴い、関係条例の整備をするため。

<制定内容>

次に掲げる条例につき、株式会社日本政策金融公庫等が行う年金担保貸付事業の廃止に伴い、退隠料等の給付を受ける権利を担保に供することに係る規定の整備を行う。

- (1) 熊本市退隠料退職給与金死亡給与金遺族扶助料条例(大正14年告示第25号)
- (2) 熊本市職員共済組合条例(昭和30年条例第27号)
- (3) 熊本市教育職員の退職年金及び退職一時金に関する条例(昭和35年条例第17号)
- (4) 熊本市消防団員等公務災害補償条例(昭和41年条例第39号)

<施行日>

令和4年(2022年)4月1日

○熊本市公民館条例の一部改正について

公民館の会議室等における使用時間区分の見直しに伴うため。

<改正内容>

公民館の会議室、料理実習室及びホール並びに冷暖房設備の使用について、午前、午後又は夜間の使用に加え、1時間単位による使用を可能とする。

<施行日>

令和4年(2022年)10月1日等

	施設使用料	冷暖房設備使用料
	1時間単位 (1時間までごとに)	1時間単位 (1時間までごとに)
大会議室	440円	70円
中会議室	300円	50円
小会議室	140円	40円
料理実習室	500円	50円
ホール	670円	240円

○市立高等学校・市立総合ビジネス専門学校改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

市立総合ビジネス専門学校の課程の見直し等に伴い、関係条例の整備をするため。

<制定内容>

1 熊本市立総合ビジネス専門学校条例(平成2年条例第44号)の一部改正

- (1) 一般課程(夜間)の廃止
- (2) 科目等履修生及び聴講生を受講対象者とすることに伴う受講料等の新設等
- (3) 専門課程における生徒として入学しようとする者に係る入学考査料等の改定

対象者	区分	金額
科目等履修生	入学料	3,000円
	受講料	1単位につき10,000円
聴講生	受講料	1単位につき10,000円

区分	現行	改訂後
入学考査料	4,800円	5,200円
入学料	30,000円	58,000円

(4) 市立高等学校の在校生が科目等履修生又は聴講生となる場合における受講料等の減免に係る規定の新設

2 熊本市立高等学校条例(昭和39年条例第40号)の一部改正

学科の改編に伴う規定の整備等

<施行日>

令和5年(2023年)4月1日等

○熊本市立野外教育施設条例の一部改正について

熊本市立金峰山少年自然の家の設置目的に市民に自然に親しむ体験の機会を提供することを加えるとともに、同施設に指定管理者制度を導入する等のため。

<改正内容>

1 題名及び施設名の変更

- (1) 題名
【変更前】熊本市立野外教育施設条例
【変更後】熊本市立金峰山自然の家条例
- (2) 施設名
【変更前】熊本市立金峰山少年自然の家
【変更後】熊本市立金峰山自然の家

- 2 設置目的として市民に自然に親しむ体験の機会を提供することを追加
- 3 指定管理者制度の導入に係る規定の追加
(1) 指定管理者の指定の手続等
(2) 指定管理者が行う業務
(3) 利用料金制度に係る規定
(4) 協定の締結、指定の取消し等に係る損害賠償及び秘密保持義務等
- 4 使用料の設定

使用区分	使用時間	使用者	使用料
宿泊室	午後1時から 翌日の午前10時まで	一般	1人1泊 1,400円
		大学生・高校生	1人1泊 900円
		中学生以下	1人1泊 700円
テントサイト	午前11時から 翌日の午前10時まで	一般	1人1泊 1,000円
		大学生・高校生	1人1泊 600円
		中学生以下	1人1泊 500円
日帰り	午前11時から 午後9時まで	一般	1人 500円
		大学生・高校生	1人 300円
		中学生以下	1人 250円

※中学生以下で本市内の小学校又は中学校に通学する者及びその引率者が教育課程に基づく学習活動として金峰山自然の家を使用する場合における使用料並びに小学校就学の始期に達するまでの者の使用料は、無料

<施行日>

令和7年(2025年)4月1日等

○熊本市奨学金条例の一部改正について

経済的理由により修学が困難な者に対し、高校等進学支援金を支給するため。

<改正内容>

経済的理由により修学が困難な者であって高等学校等への入学を許可されたものに対し、高校等進学支援金(1人につき40,000円)を支給することとする。

<施行日>

令和4年(2022年)4月1日

○熊本市手数料条例の一部改正について

熊本市優待証(さくらカード)の交付に係る手数料を廃止するため。

<改正内容>

熊本市優待証(さくらカード)を熊本市おでかけICカードに統合することに伴い、熊本市優待証(さくらカード)の交付に係る手数料(1件につき300円)を廃止する。

<施行日>

令和4年(2022年)4月1日

○熊本市自転車の安全利用及び駐車対策等に関する条例の一部改正について

自転車の安全利用を促進するための各主体の責務の追加、市が行う自転車の安全利用の推進及び利用環境の整備に関する規定の追加、自転車損害賠償保険等への加入促進に関する規定の追加等を行うため。

<改正内容>

- 1 自転車の安全利用を促進するための各主体の責務の追加
(1) 自転車の利用者等の責務
ア 自転車を利用する際は、乗車用ヘルメットを着用すること。
イ 道路交通法等の規定により備えるべき前照灯及び尾灯又は後方への反射器材に加え、自転車の両側面方向への反射器材を装備すること。
(2) 保護者等の責務
ア その保護する者が利用する自転車について定期的に点検し、必要な整備を行うこと。
イ その保護する者に対し、夜間に自転車を利用する場合においては、適切に前照灯等の点灯及び反射器材の装備をさせること。
(3) 学校の長の責務
ア 在学する児童、生徒又は学生に対する乗車用ヘルメットの着用その他の安全上の措置に関する指導の実施に努めること。
イ 当該学校の教職員に対し自転車の交通安全教育に必要な知識を習得させるために必要な研修の機会を提供することその他の取組の実施に努めること。
(4) 事業者の責務
自転車通勤、又は事業活動において自転車を利用する従業者に対し、乗車用ヘルメットの着用その他の自転車の安全利用に必要な啓発及び指導を行うよう努めること。
(5) 自転車貸付業者の責務
自転車の貸出しに当たっては、当該自転車について定期的に点検し、必要な整備を行うよう努めること。
(6) 自動車及び原動機付自転車の運転者の責務
自転車の側方を通過するときは、当該自転車との間に安全な間隔を保ち、又は徐行するよう努めること。
- 2 市が行う自転車の安全利用の推進及び利用環境の整備に関する規定の追加
(1) 交通安全教育の推進
(2) 自転車利用環境の整備
(3) 自主的な取組を行う市民への支援
- 3 自転車損害賠償保険等への加入促進に関する規定の追加
(1) 自転車の利用者等は、自転車損害賠償保険等の種類に応じ、それに加入し、又は加入するよう努めなければならない。
(2) 自転車小売業者、事業者及び自転車貸付業者は、自転車損害賠償保険等に係る加入の確認及び情報の提供に努めるものとする。
(3) 学校の長は、在学する児童、生徒又は学生に対し、自転車損害賠償保険等に関する啓発及び情報の提供に努めなければならない。
(4) 市は、賠償責任の周知及び自転車損害賠償保険等に係る加入促進の啓発を行うものとする。

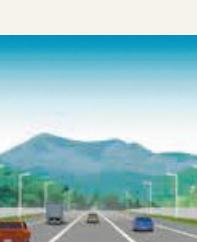
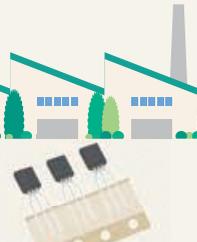
<施行日>

令和4年(2022年)10月1日

代表質問

第1回定例会において4会派が代表質問を行いました。主な質問内容は次のとおりです。
なお質問の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症への取り組みとして、壇上にアクリル板を設置するとともに、マスク着用の上、質問を行いました。

<p>熊本自民</p>	 <p>紫垣 正仁議員</p>	<p>質問</p> <p>熊本市でSDGs推進条例を定めるべき</p> <p>本市はフェアトレードシティ10周年を迎えるが、フェアトレードは誰一人として取り残さないというSDGsの基本理念にも合致するものなので、これを戦略的に市民と共に進めていくために、SDGs推進条例を制定してはどうか。</p> <p>答弁</p> <p>SDGs推進条例については、市民の意識が高まり、行政や市民、事業者の役割が明確化するとともに、連携が更に深まることも考えられ、今後、制定の必要性も含め検討していく。</p>	 <p>その他の質問項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まちなか(中心市街地)のこれから ●公文書管理の現状と課題 ●組織体制について
<p>自民党</p>	 <p>原 亨議員</p>	<p>質問</p> <p>都市基盤整備の強靱化について</p> <p>災害リスク対応のためには都市基盤強化が不可欠。有事の際は緊急輸送道路となり、平時は渋滞緩和による利便性や回遊性向上により地域活性化に繋がる円滑な交通ネットワークの具体的構築が重要。本市の考え方を問う。</p> <p>答弁</p> <p>これまでも地域防災計画改定や国土強靱化地域計画を策定し防災対策強化に取り組むとともに関連予算の切れ目ない措置など事業を推進し、国へも支援強化を訴えてきた。今後も都市基盤強靱化に全力で取り組む。</p>	 <p>その他の質問項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症対策について ●地域経済の進展について ●本庁舎整備について ●財政について ●土地利用(集落内開発)などについて
<p>公明党</p>	 <p>浜田 大介議員</p>	<p>質問</p> <p>半導体関連企業のための工業用地確保</p> <p>TSMC関連企業進出の受け皿となる土地や、新たな半導体工場建設の受け皿となる土地を市内に整備することも見据えた都市計画の見直しなども検討する必要があると考えるが、本市の考えを問う。</p> <p>答弁</p> <p>産業用地の確保については、企業の投資動向や市内の土地の現状調査などにより情報を把握し、土地利用上の課題などを整理しながら、今後の都市基盤整備や中長期的な財政負担も踏まえ、総合的かつ早期に検討を進めたい。</p>	 <p>その他の質問項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスワクチン接種について ●南海トラフ地震について ●デジタル化推進について ●夜間中学について ●子育て支援について
<p>市民連合</p>	 <p>上田 芳裕議員</p>	<p>質問</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策の取り組み</p> <p>エッセンシャルワーカーの休業による社会機能維持の影響が懸念される。本市のライフラインに関わる「病院局・消防局・交通局・上水道事業・本市衛生部門におけるゴミ収集」などの社会機能維持に向けた取り組みは。</p> <p>答弁</p> <p>ライフラインに関わる市民生活に直結した業務については、いかなる状況下においても安定的・継続的に実施することが重要であることから、組織の人員体制や業務形態などに応じて、適時適切な対応を行っている。</p>	 <p>その他の質問項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校教育の充実と支援体制について ●資源循環・環境保全型廃棄物行政の確立について ●市民生活を豊かにする道路整備の推進について ●防災対策と地域防災力の強化(地域防災計画)について

一般質問

第1回定例会の主な質問内容は次のとおりです。
なお質問の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症への取り組みとして、壇上にアクリル板を設置するとともに、マスク着用の上、質問を行いました。

<p>熊本自民</p>	 <p>光永 邦保議員</p>	<p>質問1</p> <p>災害時における業務継続基本体制の整備を</p> <p>災害時における業務継続計画が4年近く更新されておらず、基本体制が整っていないことへの市長の考えは。</p> <p>答弁</p> <p>業務継続計画の未更新については反省し、今後、災害対応マニュアルなどの見直しを確実にし、市民の皆様の安心に繋げていく。</p>	<p>質問2</p> <p>市庁舎建て替え議論の「耐震性能」に結論を</p> <p>現在、議論を中断している市庁舎の建て替え問題については、耐震性能の結論を出すべきと考えるが市長に問う。</p> <p>答弁</p> <p>まずは、耐震性能分科会において審議を行っていただくものと考えており、専門的な立場から検証をいただけるものと期待している。</p>
<p>自民党</p>	 <p>田島 幸治議員</p>	<p>質問1</p> <p>今後の児童館の管理運営</p> <p>児童館は放課後の居場所として重要な役割がある。直営と指定管理で利用者数に差があるが民営化の検討は。</p> <p>答弁</p> <p>効率的・効果的な運営に努めるとともに、民間事業者などの意見を伺いながら、今後、多様な観点から運営手法を検討していく。</p>	<p>質問2</p> <p>選挙投票所の環境整備</p> <p>高齢者や障がいを持つ方々の立場に立った投票所の環境整備が必要。投票率向上のための今後の対応は。</p> <p>答弁</p> <p>投票所は仮設スロープや人的介助などの環境整備に努めた。今後も有権者が投票しやすい環境を整備していく。</p>
<p>公明党</p>	 <p>高瀬千鶴子議員</p>	<p>質問1</p> <p>HTLV-1感染者に対する支援を</p> <p>母親がHTLV-1キャリアである乳児を対象とした「粉ミルク支援事業」の創設について、市長の考えは。</p> <p>答弁</p> <p>母子感染対策協議会で必要な支援を協議し、妊産婦が安心して子どもを産み育てることができるよう、環境づくりに努める。</p>	<p>質問2</p> <p>家庭の生ごみ削減に「都市型コンポスト」</p> <p>コンパクトでスタイリッシュな外観の、若い世代にも人気がある都市型コンポストを勧めてはどうか。</p> <p>答弁</p> <p>都市型コンポストは、新たな購入層の獲得にも繋がることから、本市の補助制度の対象であることを積極的に周知していきたい。</p>
<p>市民連合</p>	 <p>吉村 健治議員</p>	<p>質問1</p> <p>内密出産に関する法整備の必要性</p> <p>内密出産における現行法での問題点や、今後の速やかな法制化に向け、いかに推進し議論していくのかを問う。</p> <p>答弁</p> <p>内密出産には、子どもの出自に関する情報の取り扱いなどに課題がある。引き続き国に法整備を要望し、議員立法も含めた働きかけを行う。</p>	<p>質問2</p> <p>平和に対する市長の思い</p> <p>平和や核兵器廃絶に関する声明事例と、ロシアによるウクライナ侵略も含めた市長の平和への思いや決意は。</p> <p>答弁</p> <p>平和の大切さや命の尊さへの理解を深めるとともに、戦争の惨禍を次世代へ語り継ぎ、恒久平和実現に向けた努力を粘り強く行う。</p>

共産党

那須 円議員

質問1 公設公民館の自主講座を継続へ
運用見直しを検討されている公民館での自主講座は、利用者の声を丁寧に聞くとともに継続すべきではないか。

答弁 利用者の意見を聴きながら、見直しの趣旨を踏まえつつ検討を進め、納得いただけるよう丁寧な説明を行っていく。

質問2 がん検診の完全無料化を実施すべき
70歳以上のがん検診は無料となり、2割も受診が増えている。がん検診の無料化を全年齢に拡充すべきでは。

答弁 令和4年度は肺がん検診で個別検診を導入し受診環境の整備を行う。がん検診の無料化については、その効果などを検証し検討する。



熊本自民

平江 透議員

質問1 市街化調整区域内の集落内開発制度の見直し
法改正に伴い、災害リスクの高いエリアは集落内開発制度の対象地域から除外とあるが、対応策の付加条件は。

答弁 3m以上の浸水想定エリアを集落内開発制度指定区域から一律に除外せず、安全上及び避難上の対策^(※1)の実施を条件に付すことを想定。

質問2 都市計画区域の線引きの見直し
川尻駅・富合駅の周辺地域を市街化区域に編入すべきであると考えているが、市長の考えは。

答弁 多核連携都市を将来像として掲げ、その実現に向け災害に強いコンパクトなまちづくりを進めており、この観点で慎重に検討する。



自民党

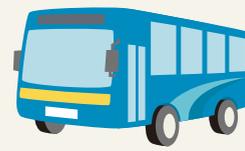
齊藤 博議員

質問1 中心市街地におけるにぎわい創出の取り組み
上通北口で、AIデマンドタクシーやシェアサイクルの拠点化を図り、路線バスの新設を検討できないか。

答弁 AIデマンドタクシーやシェアサイクルについては関係者と協議を行う。路線バスについては代替策を含め可能性を探る。

質問2 河川及び管理用通路は適正に管理を
健軍川や藻器堀川など、住宅街を流域に持つ河川の除草管理は、地域の要望を踏まえ適切に対応いただきたい。

答弁 河川除草は、流下断面の確保や景観、防犯など、市民生活への影響が大きいため、地域と情報共有しながら河川の維持管理に努める。



公明党

吉田 健一議員

質問1 本市の防災士を掌握し活用へ
本市在住の防災士の掌握ができていない。防災対策強化に向け、防災士の掌握と活用につながる取り組みを。

答弁 来年度から防災士資格取得後のフォローアップ研修の開催を予定しており、スキルアップやネットワークづくり、校区防災連絡会などとの連携強化を図る。

質問2 学校トイレ洋式化計画期間(約10年)の短縮
今のトイレ洋式化計画は約10年かかる。メーカーの新技术導入など、加速化の実現に向けた期間短縮の考えは。

答弁 新技术のさらなる導入を検討するとともに、国の財政支援制度を効果的に活用し、学校トイレの洋式化の早期完了を目指す。



市民連合

福永 洋一議員

質問1 子どもたちの教科書などの取り扱いについて
教科書などが重く児童・生徒の通学時の身体的な負担あり。軽量化に向けて、置き勉の徹底などの取り組みが必要。

答弁 保護者や児童生徒への置き勉に関する周知の徹底、各学校への宿題の出し方などの参考事例の紹介など、負担を軽減する取り組みを推進する。

質問2 幼児の虫歯罹患率の改善に向けて
子どもたちの虫歯を減らすために、出産前後の母親などへの虫歯予防の啓発や歯科医師会などとの連携強化が必要。

答弁 動画を作成するなど啓発を工夫するとともに、新設する口腔保健支援センターが中心となり歯科医師会などとの連携強化に取り組む。



熊本自民

藤山 英美議員

質問1 安全で快適な自転車の歩道通行
道路交通法の周知徹底や植樹帯の撤去など、自転車と歩行者が安全安心に通行できる歩道幅員の有効的活用を。

答弁 自転車条例の改正や支援を通じて自転車交通ルールの浸透を図るとともに街路樹と調和のとれた安全な歩行空間となるよう取り組む。

質問2 公設公民館の自主講座廃止
自主講座を生涯学習サークルへ移行に猛反発。廃止することは、生涯学習の理念に反するのではないか。

答弁 公民館をより多くの人が利用しやすい施設とするための見直しであり、利用者のご意見を十分に聴きながら丁寧に進めていく。



市民連合

田上 辰也議員

質問1 江津湖にあった「野鳥の森」破壊の原因
野鳥の森の破壊は食い止められなかったか。また、野鳥の森付近の宅地開発工事に、市は補助金を出したのか。

答弁 お尋ねの土地は事業認可区間ではなかったため、用地取得は行わなかった。擁壁工事には復興基金を活用し補助金の交付を行った。

質問2 「野鳥の森」を復活してもらいたい
ふるさと納税の返礼品の対象に野鳥の森の復活など環境保全事業を加えることはできないか。

答弁 環境保全への関心も高まっていることから、環境保全事業に活用できるふるさと納税のメニューについて検討を進める。



市民連合

村上 博議員

質問1 児童虐待防止と家庭養育環境の確立
フォスタリング機関や児童家庭支援センターの事業所増設について、市長の考えは。

答弁 今年度から開始した事業であり、実績や効果などについて検証し、児童虐待の相談状況の推移を考慮したうえで検討する。

質問2 全ての小中学校にバリアフリー化を
文科省のバリアフリー整備計画をふまえ、本市では全ての小中学校のエレベーター設置にどう取り組むのか。

答弁 来年度はエレベーターの整備校数を増やす予定であり、利用者の実情に配慮したバリアフリー化を効率的かつ迅速に進めていく。



おしえてひごまる 安全上及び避難上の対策^(※1) … 3mの浸水想定エリアでの対策例については、敷地のかさ上げ、建築物の二階建て、平屋建てにあっては、屋根への避難口付の小屋裏を設けるなどを想定している。



総括質疑 (3月10日、3月11日)

熊本自民

- 質疑 1** **新年度予算重要政策と、コロナ対応と原油高騰対応について**
大西市長二期目集大成の予算編成への理念・思いと、コロナ対応と原油高騰対応を問う。
- 質疑 2** **米FDA発表のファイザーワクチン副反応1,200種について**
小児接種の親へ、米国食品医薬品局から3月1日に発表された、ワクチン副反応死の疑いのある24,402人や副反応1,291種のデータを周知してほしい。
- 質疑 3** **名古屋市『コロナ後遺症相談窓口設置と治療診療体制病院約90ヶ所整備』について**
名古屋市が3月中に設置する『コロナ後遺症相談窓口設置と治療診療体制病院整備』を、熊本市民のワクチン後遺症者のために設置・整備してもらいたい。
- 質疑 4** **池田小学校、教育・災害時施設の体育館+プール新築について**
長年の懸案であり、コロナで一時凍結、昨年3月池田自治協議会と共に陳情、今定例会に上程された建設予算と建築タイムスケジュールを示されよ。
- 質疑 5** **熊本農業振興地域整備計画の見直し**
今回の全体見直しにおける農用地区域からの除外に係る基準とは。また、除外の可能性のある農地はあるのか。市長自ら現地調査に赴き地元窮状を把握した上で計画に反映させる考えはないか。
- 質疑 6** **スピード感のあるTSMC熊本進出への対応**
プロジェクトチームは動き始めたのか。その中で農業政策課の役割は。半導体関連産業動向調査経費の使途は何か。また、工業団地適地調査の手法は。
- 質疑 7** **スポーツ施設の計画的な整備**
相撲場、武道場整備について市長はどのような認識をお持ちか。また、ストック適正化計画の位置付けはどのようなものになるのか。
- 質疑 8** **新型コロナウイルス感染症への対応に関連する事業について**
各種イベントなどでの感染症防止対策の具体的な取り組み・ワクチン未接種者への対応は。住居確保給付金の減額理由と積算根拠は。商店街の空き店舗対策の実績と事業効果、積算根拠は。
- 質疑 9** **政令指定都市移行10周年記念事業の実施について**
政令指定都市移行10周年記念事業について、式典の具体的な内容や事業の効果は。
- 質疑 10** **ずっと住みたいまちづくりについて**
グリーンスローモビリティ導入及びMaaSの新たな取り組みであるAIデマンドタクシーの社会実験の具体的な内容と効果は。
- 質疑 11** **全国都市緑化くまもとフェアについて**
緑化フェア後のレガシーイベント、花や緑の関心を未来へとつなぐ取り組みの具体的な内容は。
- 質疑 12** **行政データ分析環境の整備としてのスマートシティ推進について**
スマートシティの推進について、新年度の具体的な取り組みは。
- 質疑 13** **コロナ禍での税の増収、その原因は**
空きテナントが目立つ中、市民に関係ある市税が増収している事を、市はどのように分析しているのか。
- 質疑 14** **コロナ感染者に対する配慮**
自宅療養の乳幼児を持つ世帯へ支給されている食事には、現在、お粥で対応しているが、今後は一緒に離乳食も支給する配慮をして欲しい。また、この考えを災害備蓄品にも応用してほしい。
- 質疑 15** **学校女子トイレに生理用品を常備**
小中高・専門学校・特殊学校と実現したが他の公的施設にも広げてほしい。
- 質疑 16** **自転車のヘルメット着用が努力義務になることについて**
市民に着用を求める本市の本気度は。職員が着用しないなら市民は何と云うだろうか、市の考えを聞く。

自民党

- 質疑 1** **公共投資と経済の関係**
投資的経費は昨年度比で目減りしているが公共投資の減少は地域経済へのマイナス影響を及ぼす恐れが大きいとの認識に留意すべき。
- 質疑 2** **人件費の方向性**
庁舎内の業務状況の変化は著しく職員への過大な負担が生じている中で人件費のマイナスに鑑み業務実態に応じた新しい手当ての創出を検討すべき。
- 質疑 3** **デジタル化に伴う情報政策の展望と課題**
DX・情報政策の推進上、情報の安全保障の担保は必須条件として自治体にも独自の考え方が求められる。
- 質疑 4** **感染症に関わる正しい情報の集約や情報提供の課題**
感染症に関する情報リテラシーが適切に機能していない現状では、客観的データと1次的資料に基づかない知見を安易に発信することは控えるべき。
- 質疑 5** **特定健診及び特定保健指導の受診率推移と受診向上対策**
医療費適正化のためには予防が最も重要と考えるが、特定健診受診率、保健指導受診率の推移を示すとともに、受診率向上の対策と現状の受診率をどう捉えているのかを問う。
- 質疑 6** **各種がん検診の受診向上率対策**
令和4年度より肺がん検診の個別検診が計画され、受診率向上が期待されるが、がん検診の予算の内訳と肺がん個別検診により期待される効果は。
- 質疑 7** **道路の維持管理**
地域から寄せられた道路整備などの要望対応状況や、昨年秋に実施された登下校道路の一斉点検で確認された危険個所の数と内訳及び対応する来年度の予算と実施計画は。
- 質疑 8** **水産資源保護に向けた今後の取り組み**
アサリ・ハマグリ保護事業は長期的に取り組むべき。県と市、漁業組合や漁業者と情報共有を強化し資源回復の実現へ。
- 質疑 9** **有明海沿岸道路に期待する役割を調査で明確に**
有明海沿岸道路の調査費は過去5年間の平均は250万円程度で少額。今後はTSMC進出、熊本新港の機能拡大を見据えた有明海沿岸道路の機能や必要性を含め調査規模を拡大すべき。
- 質疑 10** **スポーツ施設の在り方の検討を**
スポーツ施設の適正化へはコスト削減だけでなく、スポーツ競技力向上や市民ニーズの反映も重要。ヴォルターズ誘致に関しても、まずは、迅速に効果や課題を分析すべき。

公明党

- 質疑 1** **不妊治療が保険適用となる周知徹底を**
4月からの保険適用拡充を知らずに不妊治療を諦める方が出ないように、わかりやすく丁寧な周知徹底をお願いする。
- 質疑 2** **軽自動車(種別割)納税証明書のオンライン化について**
オンライン化が実現すれば、年間28,000件以上の窓口での手続き業務がなくなり、申請側・行政側どちらにとっても事務負担軽減のメリットが大きいと、実現に向けて進めていただきたい。
- 質疑 3** **建設工事の発注に「技術提案型」**
技術提案型総合評価方式の活用が極端に少ない。複雑で難易度も高く、技術的な工夫が必要な工事には民間の最新技術を使うなど、より品質が高く安全な工事につながるよう技術提案型を採用していただきたい。
- 質疑 4** **犯罪被害者支援条例の制定を**
市民に最も身近である市町村が条例を制定することが重要。近年は特に若年層の性被害に関する相談が増えている。本市としても1日も早く条例を制定すべきである。
- 質疑 5** **成年後見人制度の認知と活用**
制度の認知度向上と、制度を利用されている方がメリットを実感できる制度として取り組んでほしい。また、誰にも頼れない方々が孤立しないような適切な支援をお願いする。

質疑6 女性の居場所の提供など支援の充実

女性の就職支援には、各部署からのアイデアの収集や連携により、一層の支援につながるよう寄り添って進めていただきたい。

質疑7 子宮頸がんワクチン接種の周知について

希望者が迅速に対応できるよう、接種対象者全員への個別通知をお願いしたい。

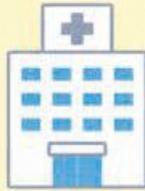
市民連合

質疑1 医療機関や訪問看護などの現場における従事者の安全確保

年末年始に起きた心療内科クリニック放火事件と訪問診療医射殺事件は、医療・介護関係者に大きなショックを与えた。患者・利用者・その家族からの不当要求やハラスメントが問題化しており、従事者が安心して働ける環境が必要。不当要求に対処できる弁護士相談窓口や警察への通報システムの開設、警備員の同行経費補助などを行うべき。

質疑2 休日夜間などにおける救急医療体制の確保

コロナ禍での医療逼迫は救急医療にも大きな影響を与えている。特に産科、小児科などの医師不足は深刻。産科医などを狙う学生への奨学金や生活支援制度の導入、医学部の寄附講座への財政援助などを行うべき。



質疑3 がんサポートセンターの運営

熊本市のがんサポートセンターは専任相談員1名、年間の人件費と事務費併せても110万円程度の予算。これでは、本来の役割を担えているとは思えない。「認定NPO法人マギーズ東京」の事例を参考にがん相談体制の強化が必要。

質疑4 保育士などの処遇改善事業

国が進める看護師、保育士などの賃金引き上げ事業に、熊本市立保育園・幼稚園の保育士・幼稚園教諭だけが対象外となっている。事業実施の判断基準にバラツキがあり納得性が低い。今後、正確な民間調査を行い、非正規の保育士職員なども含め処遇改善を行うべき。

共産党

質疑1 過大な投資で借金を増やす市庁舎建て替え430億円、「疑問を呈する学識者」の意見を聞かない公正さを欠いた検証

市庁舎建て替え430億円は、大規模改修より200億円借金が多くなる。過大な投資ではないか。非公開で開催される有識者会議耐震性能分科会が、「耐震性能評価を行った設計会社」の説明は聞き、「疑問を呈した学識者」の意見を聞かない検証は公平さを欠くのではないかと懸念している。



締めくくり質疑（令和4年2月21日・3月22日）

令和3年度 熊本市一般会計補正予算

- 新型コロナウイルス感染症対策
 - ・生活困窮者自立支援金について
 - ・経済分野における支援策について
 - ・職員体制の確保について

令和3年度 熊本市国民健康保険会計補正予算

- ・新型コロナウイルス感染症に係る保険料の減免及び傷病手当金について

令和4年度 熊本市一般会計予算

- ・ウィズコロナ・アフターコロナの取り組みについて
- ・教育情報化推進及び教育関連予算について
- ・職員採用について
- ・ごみ収集関連の諸課題について
- ・小児への新型コロナウイルスワクチン接種について
- ・令和4年度の事業推進体制について
- ・会計年度任用職員の処遇について
- ・財政の中期見通しについて

分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

総務

●消防団員の報酬額の改定などについて

消防団員の報酬額の改定などに伴い、出勤報酬が課税対象となり、新たに確定申告などの必要性が生じることから、消防団員に向けた説明会を開催するなど丁寧な対応を求めたい。

●スマートシティ推進経費について

事業の推進には官民連携の取り組みが重要であることから、企業からの提案やアイデアを生かしながら、VRなどの新技術を使った魅力的な取り組みを実現してもらいたい。



教育市民

●三十五人学級について

指導面や感染対策においても効果的であると思うので、中学校への導入について、先進的な取り組みとして積極的に検討してもらいたい。また、教育の質を向上させる観点から、正規教員の確保に向けた取り組みを早急に推進してもらいたい。



●消費者教育の推進について

本年四月から成年年齢が引き下げられることに伴い、若年者の消費者被害の拡大が懸念されるので、小中学校などにおける消費者教育の推進を求めたい。

厚生

●ヤングケアラー支援体制強化事業について

ヤングケアラーの中には、虐待など緊急支援を要するケースも考えられるので、早急な実態把握に努め、必要な支援につなげてもらいたい。また、実態把握には、日頃から子供の変化に気づきやすい教育現場が最も適していると思うので、教育委員会との連携強化による取り組みを求めたい。



●孤独・孤立対策経費について

潜在的な要支援者が多く存在すると思うので、次年度以降、事業拡充による予算措置や支援体制の構築についてさらなる検討を求めたい。

環境水道

●東部環境工場延命化整備事業について

事業計画の策定に当たっては、後々事業費が追加されることのないよう、十分な精査を求めたい。また、報道機関に対しては、計画内容に関し誤解が生じないよう、明確かつ適切な対応に努めてもらいたい。

●熊本の水ブランディングについて

今般の企業連携による限定オリジナルデザインボトルの制作・販売を通じた取り組みは高く評価したい。今後、同ボトルが広く市民に普及するよう積極的な周知・広報に努めるとともに、全国的に展開するなど、熊本の水のPRにつながるよう取り組みの強化を求めたい。



経済

●飲食店食べ歩き一億円キャッシュバック事業について

制度設計にあたっては、他都市の成功事例を参考にするなど、飲食店の利用促進はもとより、食品卸売業や酒類販売業など関連産業に幅広く効果をもたらすよう、鋭意取り組んでもらいたい。

●放置竹林対策について

国の交付金活用によるさらなる取り組みの推進に向け、制度の周知・広報に努めてもらいたい。



都市整備

●熊本市開発許可の基準などに関する条例の一部改正について

本改正は、集落内開発制度指定区域における今後の土地利用に及ぼす影響が大きく、いまだ市民の理解も十分得られていないことから、地域の実情に配慮した運用基準などを定めるとともに、適用までの猶予期間を十分に設け、市民への周知と理解の促進に努めるよう要請する附帯決議を付すことを本委員会決定した。



可決された意見書

市議会では、国会または関係行政庁に意見書を提出することで、議会としての意思を表明します。第1回定例会では、6件の意見書が可決(内5件が全会一致)されました。

発議第3号	シルバー人材センターの安定的な事業運営のための適切な措置を求める意見書について
発議第4号	予期せぬ妊娠で悩む人々への十分な対応と生まれてくる子供の権利の両立を図る体制整備の強化を求める意見書について
発議第5号	介護職員の処遇改善に関する手続の簡素化と対象職種の拡大を求める意見書について
発議第6号	主権者教育の充実と投票機会の拡充を求める意見書について
発議第7号	日米地位協定の見直しを求める意見書について
発議第8号	南海トラフ地震、首都直下地震対策を更に強化することを求める意見書について

※発議第3号～7号は、全会一致で可決されました。

主な議決結果

各議員の賛否については、熊本市議会ホームページの議員名簿をご覧ください。

議案番号・件名	熊本自民	自民党	公明党	市民連合	共産党	無所属議員			議決結果
議第3号 令和4年度熊本市一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
議第20号 令和3年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
議第37号 年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第40号 熊本市公民館条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
議第41号 市立高等学校・市立総合ビジネス専門学校改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	×	○	×	○	可決
議第42号 熊本市立野外教育施設条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
議第43号 熊本市奨学金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第44号 熊本市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第53号 熊本市自転車の安全利用及び駐車対策等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第93号 令和3年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第96号 令和3年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	— ※	○	可決

※「—」については、欠席

トピックス 議員定数や区ごとの定数の見直しを検討しました

本市議会では、令和3年12月17日に「議員定数等のあり方検討会」を設置し、議員定数及び各選挙区選出議員数のあり方について協議しました。

【議員定数等のあり方検討会 設置期間】
令和3年12月17日～令和4年3月17日

【各区選出議員数】(合計48人)

	中央区	東区	西区	南区	北区
現行	11人	13人	6人	8人	10人
▼	▼	▼	▼	▼	▼
改正後	12人	12人	6人	9人	9人

主な意見

- 定数の算出には、法の趣旨に沿って令和2年の国勢調査人口に応じた形とすべきである。
- これまでの議員数の削減により、代表者が不在となった地域の現状等に鑑み、地域の声を市政に反映させるためには、現行の定数が適正と考える。
- コロナ禍の中、議会としても身を削る姿勢を示すべきであり、中央区は増員せずとも、現行の11人で市民の付託に応えることができるのではないかと。

【結論】全会一致

- 議員定数については、現行の48人とする。
- 各区選出議員数については、令和2年の国勢調査人口を基に、中央区と南区は、それぞれ1人増やし、東区と北区は、それぞれ1人減らし、2増2減とする。なお、西区については、現行の6人とする。

第2回定例会は、**6月10日(金)～6月29日(水)** 詳しい会議日程は熊本市議会ホームページをご覧ください。

編集後記

議会広報委員会
(10名)



三森至加委員長



山本浩之副委員長



田中敦明委員



光永邦保委員



吉村健治委員



齊藤博委員



高瀬千鶴子委員



島津哲也委員



荒川慎太郎委員



古川智子委員

「市民に開かれた窓」として市議会だけが創刊され10年あまりが経過しました。その成果を更に広げようと昨年10月の千原台高校に引き続き、県立大学の学生さんと意見交換を行いました。議会活動を一人でも多くの市民に伝えることは私たちの使命だと考えています。ご意見ご感想をお待ちしております。

光永 邦保 議会広報委員

発行／熊本市議会
編集・文責／熊本市議会広報委員会

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
TEL. 096-328-2684(議会局政策調査課)
FAX. 096-324-3284 第42号

電子メール
gikaiseisakuchousa@city.kumamoto.lg.jp

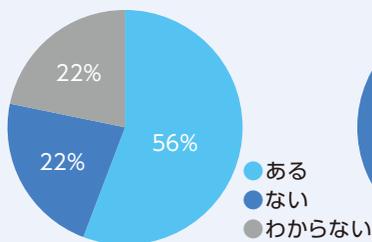
熊本県立大学生を対象にしたアンケート集計結果

熊本市議会では、親しみのある分かりやすい議会を実現させること、市民に市議会への理解と関心を深めてもらうことを目的に、若い世代を対象とした市議会に関するアンケートと意見交換会を実施しました。

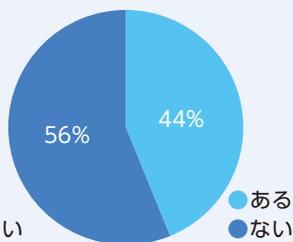
今回は熊本県立大学生の皆さまに、熊本市議会に関するアンケートと意見交換会にご協力いただきました。

1. 政治について

Q1-1 政治について興味はありますか



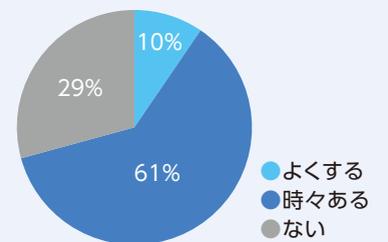
Q1-2 政治について身近に感じたことはありますか



Q1-3 Q1-2で「ある」と答えた方はどのような時に身近に感じましたか

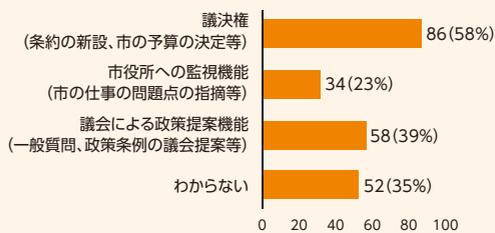
- 選挙 (15)
- インターンシップ (5)
- 法整備によって日常生活に大きな影響が出るとき (3)
- 学生向けの政治家たちの演説を聞いたとき 等

Q1-4 家族や友達と政治について話すことはありますか

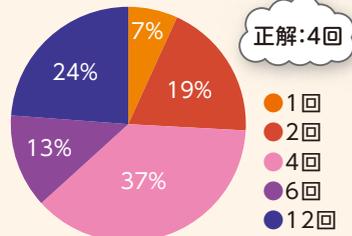


2. 熊本市議会について

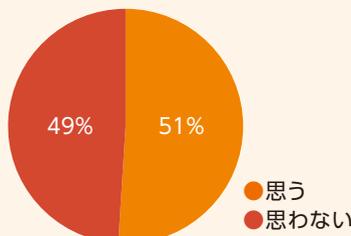
Q2-1 熊本市議会の役割としてあなたが知っているものを教えてください(複数回答可)



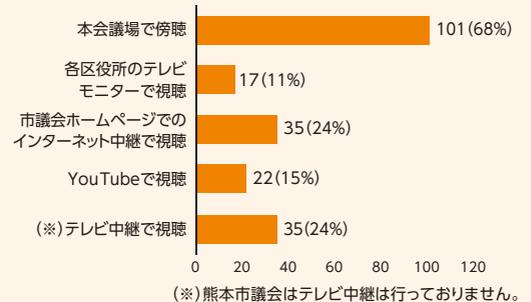
Q2-2 熊本市議会(定例会)は一年に何回開かれていていると思いますか



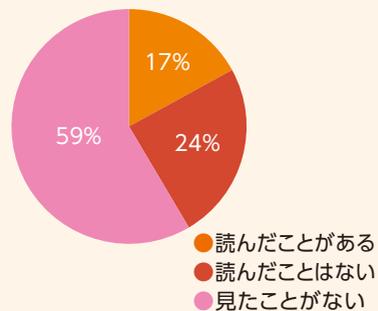
Q2-3 機会があれば熊本市議会を傍聴(視聴)してみたいと思いますか



Q2-4 熊本市議会を傍聴(視聴)する手段について知っているものを教えてください(複数回答可)



Q2-5 「くまもと市議会だより」を読んだことがありますか



Q2-6 市議会だよりを読んで、気になる記事はありましたか。また、感想を聞かせてください。

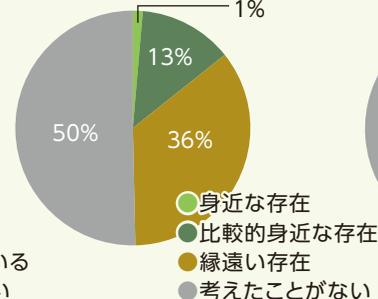
- 普通の学生は手に取るまでのハードルが高いのではと感じる
- 内容に変化が欲しい
- 色々なジャンルの課題を扱っていて面白かった

3. 熊本市議会議員と選挙について

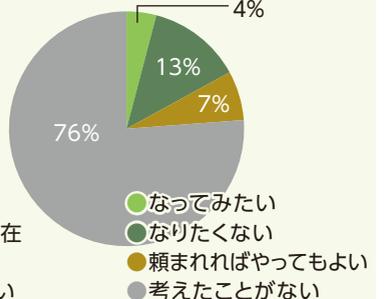
Q3-1 熊本市議会議員がどんな仕事をしているか知っていますか



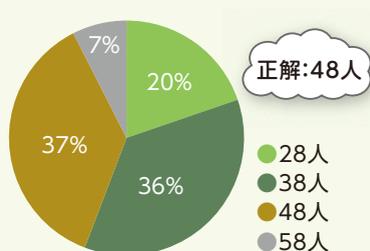
Q3-2 あなたにとって熊本市議会議員はどのような存在ですか



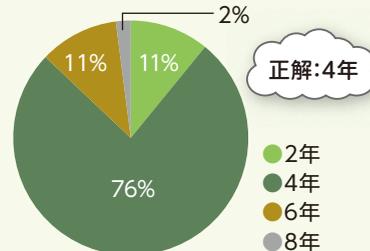
Q3-3 熊本市議会議員という職業についてどう思いますか



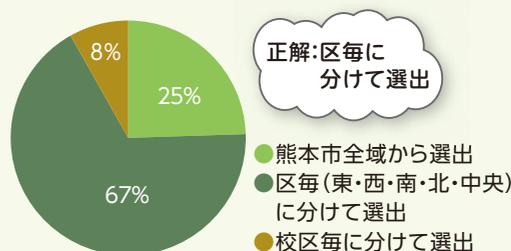
Q3-4 熊本市議会の議員定数は何人だと思えますか



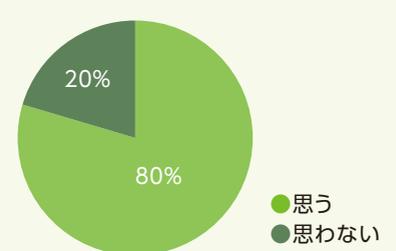
Q3-5 熊本市議会議員の任期は何年だと思えますか



Q3-6 熊本市議会議員の選挙はどのように行われていると思えますか



Q3-7 投票に行ってみたいと思えますか



Q3-8 Q3-7の回答の理由をお聞かせください

【“思う”の理由】

- 住んでいる地域(生活)に関わるから (15)
- 選挙権があるから (9)
- 政治に関わりたいため・関わるべきだから (9)
- 若者の意見も必要だと思うから (9)
- 自分の意見を反映させたいから (8)
- 自分の1票で結果が変わるかもしれないから (6)

【“思わない”の理由】

- 議員のことをよく知らない・仕組みを理解していない (10)
- 引越したばかり・熊本市民ではない (8)
- 誰が当選しても一緒のように思える
- 高齢化が激しい今日に若い人の声が届くと思わないから
- 興味が無いことにあまり時間を割きたくない

4. その他

Q4-1 自分が政治家(市長や議員)になったらとして、こんな街にしたいという希望があったらお書きください。

- 道路や公共交通の充実 (12)
- 出産・子育ての充実 (8)
- 自然と生きていく街 (3)
- 治安がいい (2)
- 市民の声に耳を傾け、暮らしやすい街 (2)
- 若い学生の将来への選択肢が増やせる街 (2) 等

4月21日 意見交換会を終えて

アンケートに協力いただいた熊本県立大学生の中から20名の皆さまと、意見交換会を開催しました。アンケートの結果を見ながら、大学生が議会や議員に対して様々な意見交換会を行いました。

事後アンケート

意見交換会に参加してみて、二人の議員の方とお話できてとても良かったのですが、ほかの議員の方のお話も聞いてみたいと思ったので、ローテーションで席を回るというのも面白そうだなと思いました。

普段関わることのできない議員さんと直接お話しさせていただき、大変貴重な経験となりました。特に、議員の方々がフランクにお話ししてくださり、今までの議員さんに対する意識が変わりました。また、議員の具体的な活動や魅力についても知ることができ、これからの議会での活動などを興味を持って知っていきたいと思いました。



意見交換会の報告書を市議会ホームページに掲載しています。

熊本市議会 意見交換会

